

2022年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(教員研修留学生用)

日 本 語

注意 ☆ 試験時間は120分

☆ 答えは全て解答用紙に記入すること。

☆ 問題はA（初級）、B（中級）、C（上級）の三つあります。

(2022)

日本語

国籍 Nationality		番号 No.		点数 Marks	
氏名 Name	(フルネームを書いて、姓に下線を引くこと。 Please print your full name, underlining your family name.)				

問題

A

Elementary Level

I _____に ^{はい}入る ^{いち}一ばん ^{てきとう}てきとうな ものを A~Dの ^{なか}中から ^{ひと}一つ えらびなさい。

(例) わたしは ^{にほんご}日本語 _____ ^{べんきょう}勉強しています。

A が B を C に D へ

1 ^{やす}休みの ^ひ日には、よく ^{やま}山 _____ のぼります。

A の B で C と D に

2 あの レストランは おいしいです _____、^{たか}高いです。

A や B と C で D が

3 つくえの ^{うえ}上に ペンが 3 _____ あります。

A ぼん B びき C まい D にん

4 あしたの パーティーには _____ ^い行かない ことに しました。

A しっかり B すっかり C やっぱり D はっきり

5 きのは あまり _____。

A あついでした B あつかったです
C あつくなかったです D あついじゃありません

6 いえには _____ いませんでした。

A どこも B だれか C だれも D どこか

7 _____で くだものを ^き切ります。

A ナイフ B コップ C ポスト D ボタン

8 すぐに ^{でんしゃ}電車が ^く来る _____です。

A でも B なら C こと D はず

9 わたしの おとうとは めがねを _____ います。

- A はいて B かけて C かぶって D つけて

10 ^{がっこう}学校に ^{ほん}本を わすれて _____。

- A しまいました B おきました C みました D ありました

Ⅱ _____と ^{いち}ーばん ^{なか}かんけいがある ものを A～Dの ^{なか}中から ^{ひと}一つ えらびなさい。

(例) ^{れい}けさ コーヒーを のみました。

- A きょうの あさ
B きょうの ゆうがた
C きょうの あさ
D きょうの ゆうがた

1 この バスは こんでいます。

- A もうすぐ ^{ひと}人が ^き来ます B ^{ひと}人が ^{すく}少ないです
C ^{ひと}人が ^いいません D ^{ひと}人が ^{おほ}多いです

2 かれは きゅうに はな話しました。

- A ^{はな}話すのを やめた B ^{はな}話しはじめた
C ^{はな}話しすぎた D ^{はな}話して しまった

3 ごはんの したくは だいたい おわりました。

- A ようじ B じゅんび C よてい D そうだん

4 ^{せんせい}先生に ^あ会ったら 「こんにちは」と ^い言います。

- A おねがいします B えんりよします
C あいさつします D けんかします

5 ジョーさんの ^{はなし}話を ^き聞いて、びっくりしました。

- A おこりました B よろこびました
C おどろきました D かんがえました

6 れんらくしてから ^き来てください。

- A れんらくしながら B れんらくする まえに
C れんらくしたので D れんらくした あとで

7 ここで たばこを すわないでください。

- A すわなくてはなりません B すわなければいけません
C すったことはありません D すってはいけません

8 おすめさんは いくつですか。

- A なんさいですか B なんにんですか
C なんかいですか D なんじですか

9 あしたは ^{がっこう}学校を ^{やす}休もうと おもいます。

- A ^{がっこう}学校に ^い行かない つもりです
B ^{がっこう}学校を ^{やす}休まないかも しれません
C ^{がっこう}学校に ^い行くだろうと おもいます
D ^{がっこう}学校を ^{やす}休まないほうが いいです

10 田中さんに とても だいじな ^{はなし}話を ^き聞きました。

- A ただしい B たのしい C たいへんな D たいせつな

Ⅲ _____に ^{はい} 入る ^{いち} 一ばん てきとうな ものを A~Dの ^{なか} 中から ^{ひと} 一つ えらびなさい。

1 ^{やまだ} 山田さん：「かいぎは _____ですか。」

^{たなか} 田中さん：「11時です。」

A ^{なんじかん} 何時間

B ^{なんじ} 何時から

C どのぐらい

D いかが

2 ^{やまだ} 山田さん：「お仕事^{しごと}が きまった そうですね。」

^{たなか} 田中さん：「_____。」

A おかげさまで

B こちらこそ

C おげんきで

D おめでとう

3 ^{やまだ} 山田さん：「来週^{らいしゅう}の ^{にちようび} 日曜日、映画を ^{えいが} 見に ^み 行きませんか。」

^{たなか} 田中さん：「_____。日曜日^{にちようび}は ^{はは} 母と コンサートに ^い 行くんです。」

^{やまだ} 山田さん：「じゃあ、その ^{まえ} 前の ^ひ 日の ^{どようび} 土曜日は どうですか。」

^{たなか} 田中さん：「土曜日なら ^い 行けます。」

A いいですよ

B わかりました

C すみません

D けっこうです

4 ^{やまだ} 山田さん：「かたかなは ^{ぜんぶ} ぜんぶ ならいましたか。」

^{マナ} マナさん：「_____。」

A はい、そうです

B いいえ、まだです

C はい、かたかなです

D いいえ、ならいました

5 ^{やまだ} 山田さん：「もう こんな ^{じかん} 時間か。じゃあ、ぼくは _____。」

^{たなか} 田中さん：「そう？ じゃあ、^き 気を つけて ^{かえ} 帰ってね。」

A ゆっくり

B そろそろ

C もうすぐ

D だんだん

Ⅳ の ひらがなと 同じ ^{おな}漢字で ^{かんじ}書くものを A～Dの ^{なか}中から ^{ひと}一つ えらびなさい。

(例) 漢字で か きます。

- A スーパーで か い物を します。
B 今日は か よう日です。
C 今から 図 しょ 館へ 行きます。
D 本を よ みます。

漢字で 書 きます。

- A 買 い物 B 火 よう日 C 図 書 館 D 読 みます

答え. C

- 1 おゆが わいたら、ひを 止めて ください。
- A 私の か わりに シンさんが あしたの かいぎに 出ます。
B 友だちから この 本を か りました。
C 今日は 九月五 か です。
D きなの か 事の げんいんは たばこだった そうです。
- 2 この ビルの 出 ぐち は どこですか。
- A この 国では、ぎじゅつが 進んで こう 業が さかんになった。
B 日本の いろいろな ところを 旅 こう したいです。
C 日本で いちばん 人 こう が 多いのは 東京です。
D 今から こう 長先生のお話が ありますので、しずかに 聞いてください。
- 3 この ビルの 屋 じょう から ふじ山が 見えますよ。
- A 電車で 間に あ う ように、少し 早く 家を出た。
B 電車の せきが あ いたので すわる ことが できた。
C かぜを ひいたようだ。少し ねつが あ がって きた。
D 急に ドアが あ いたので、びっくりした。

4 私の父は 銀こうに つとめています。

A キのう マリアさんの アパートへ いきました。

B 日本語で 自分の 考えを いうのは むずかしいです。

C この 通りは 車が多いので、注いしてください。

D 人間は 空気がないと いきられない。

5 今日の 朝 10時ごろに 東京に ついた。

A 音楽を きくのが 好きです。

B いつか 日本の きれいな き物を 買いたいです。

C りょうりを する 前に、野菜を きっておきましょう。

D この 森には ぜんぶで 千本くらい きがあります。

V つぎ ぶん よ と こた こた なか もっと てきとう
次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切なものを一つ選りなさい。

(1) にほん こ しんぶん しやうがくせい しんぶん よ しやしん え
日本には、「子ども新聞」があって、小学生がこの新聞をよく読みます。写真や絵
がたくさん使われているので、子どもが興味をもちやすいです。また、かんじ よ
漢字に読み方が書いてあるので、しょうがっこう ねんせい よ
小学校1年生も読むことができます。こくさい せいじ しやかい
国際、政治、社会、けいざい
経済、スポーツ、ぶんか
文化など、いろいろなテーマのきじ
記事があって、おとな きやうみ
大人が興味をもつきじ
記事もたくさんあります。また、アニメやファッションなど、子どもが好きな
テーマがあることも、にんき りゆう
人気の理由の1つです。

と 問い I ぶん ないよう あ
文の内容に合っているものはどれですか。

A アニメやファッションのきじ
記事は、こ にんき
子どもに人気があります。

B 「子ども新聞」は、こ しんぶん
小学生が作っている新聞です。

C しょうがっこう ねんせい こ しんぶん よ
小学校1年生は、「子ども新聞」を読むことができません。

D こ しんぶん きじ おとな きやうみ
「子ども新聞」の記事は、大人はあまり興味がありません。

(2) 私^{わたし}たちは、悲^{かな}しいとき、うれ^なしいときなどに泣^なきます。ときどき、泣^なきすぎて目^めが赤^{あか}くなることがあります。どうして、泣^なくと目^めが赤^{あか}くなるのでしょうか。目^めの白^{しろ}いところには、細^{ほそ}い血管^{けっかん}がたくさんあります。血管^{けっかん}というのは、血^ちが通^{とお}る道^{みち}のことです。泣^なくと、その血管^{けっかん}をたくさん^ちの血^ちが通^{とお}ります。目^めが赤^{あか}くなるのは、血^ちがたくさん通^{とお}っているからなのです。しかし、どうしてたくさん血^ちがあ^{あつ}まるのか、実^{じつ}はまだよく分^わかっていないそうです。

と 問い 2 文の内容に合^あっているものはどれですか。

- A 泣^なきすぎると、目^めをよくさわるので血^ちが出^でます。
- B 泣^なくと目^めに血^ちがあ^{あつ}まりますが、その理^り由^{ゆう}はよく分^わかりません。
- C 泣^なきすぎると、血管^{けっかん}が細^{ほそ}くなって、目^めが赤^{あか}くなります。
- D うれ^めしいとき、目^めにたくさん血^ちがあ^{あつ}まります。

(3) 今^{いま}、世^せ界^{かい}でいちばん長^{なが}く生^いきている人^{ひと}は、日^に本^{ほん}人^{じん}の田^た中^{なか}さんという人^{ひと}です。118歳^{さい}です。田^た中^{なか}さんは老^{ろう}人^{じん}ホー^すムに住^すんでいます。老^{ろう}人^{じん}ホー^すムでは、みん^{らうじん}なから「お母^{かあ}さん」と呼^よばれています。趣^{しゆ}味^みは、算^{さん}数^{すう}教^{きやう}室^{しつ}に行^いったり、歌^{うた}を作^{つく}ったりすることです。そして、食^たべることも楽^{たの}しんでいます。「勉^{べん}強^{きやう}することや、おい^いしいもの^{もの}を食^たべること」は、長^{なが}く生^いきるために大^{たい}切^{せつ}なのだそうです。田^た中^{なか}さんの夢^{ゆめ}は、120歳^{さい}まで生^いきることです。

と 問い 3 文の内容に合^あっていないものはどれですか。

- A 田^た中^{なか}さんは、120歳^{さい}まで生^いきたいと思^{おも}っています。
- B 田^た中^{なか}さんは、日^に本^{ほん}でいちばん年^{とし}上^{うえ}の人^{ひと}です。
- C 田^た中^{なか}さんは、勉^{べん}強^{きやう}することやおい^いしい料^{りやう}理^りを食^たべることが好^すきです。
- D 田^た中^{なか}さんは、老^{ろう}人^{じん}ホー^すムの人^{ひと}たちを「お母^{かあ}さん」と呼^よんでいます。

(4) 今は時間の長さを「1時間」「2時間」のように数えますが、昔の日本では「時間」ではなく、「こく」という言葉を使っていました。しかし、夏の「1こく」と冬の「1こく」の長さは違っていました。昔は、太陽が出て明るい時間を昼、そうではない時間を夜と考えました。夏は明るい時間が長いので昼は14時間ありますが、冬の昼は10時間以下になります。それを6つずつに分けるので、夏の昼の「こく」は長く、冬の昼の「こく」は短かったです。

と 問い 4 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 昔の日本の「1こく」は今の1時間と同じ長さです。
- B 昔の日本の「こく」は夏と冬の明るい時間のことです。
- C 夏の昼の「1こく」は冬の昼の「1こく」より長かったです。
- D 夏の昼の「1こく」は冬の昼の「1こく」より短かったです。

(5) 人間は大人になるにつれ、笑うことが少なくなります。子どもは1日に400回も笑っているそうですが、大人の女性は、1日に平均13.3回しか笑わないそうです。しかし、大人でも、楽しいことが少なくても、笑うことは大切です。笑うことは、自分のストレスを減らして気分を明るくしたり、いくつかの病気を防いだりすると言われています。笑った顔は他の人の気分をよくさせることもあります。笑うことは自分のためにも役に立っているのです。

と 問い 5 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 笑うことは、自分の気分を明るくするのに役に立ちます。
- B 大人の女性は子どもより、たくさん笑います。
- C たくさん笑う子どもは、大人になったとき病気になりません。
- D 笑うことは、他の人の病気を治すことがあります。

問題

B

Intermediate Level

I _____^{はい もっと てきとう}に入る 最 も 適 当 な も の を A ~ D の 中 か ら 一 つ 選 び な さ い。

- 1 田舎^{いな か}の生活^{せいかつ}を _____^{かん}だ と 感 じ る 人 も い る。
A 無自由^{む じ ゆう} B 不自由^{ふ じ ゆう} C 非自由^{ひ じ ゆう} D 未自由^{み じ ゆう}
- 2 面白い^{おもしろ} _____^{ちち あに わたし たんじょう び おな}、 父 と 兄 と 私 は 誕 生 日 が 同 じ だ。
A ように B うえに C ぬきに D ことに
- 3 その問題^{もんだい}について 考 え れ ば 考 え る _____^{かんが}、 わ か ら な く な っ て き た。
A ほど B まで C くらい D ばかり
- 4 山田^{やまだ}さんは、いつも 自 分 が 遅 刻 する _____^{じぶん ちこく}、 遅 刻 した 人 には 文 句 を 言 う。
A かぎり B くせに C にあたって D につれて
- 5 1 日 ゆ っ く り 休 ん だ _____^{やす}で、 も う 元 氣 にな っ た。
A せい B おかげ C うち D もと
- 6 カン^こさんは、子 ど も の ころ 日 本 に 住 ん で い た _____^{にほん す}、 日 本 語 が と て も 上 手 だ。
A だけあって B といっても C わりに D ものの
- 7 試合^{し あい}に 負 け て し ま っ て、 本 当 に _____^{ほんとう}。
A あやしい B くやしい C けわしい D くわしい
- 8 渋 滞^{じゅうたい}で バ ス が 進 ま な い の で、 乗 客^{すす} は み ん な _____^{じょうきやく} し て い る。
A いろいろ B ふわふわ C ぺらぺら D きらきら
- 9 この機 械^{き かい}を _____^{ちゅう い} に あ た っ て、 い く つ か 注 意 を し ま す。
A 使 っ て^{つか} B 使 っ た^{つか} C 使 う^{つか} D 使 い^{つか}
- 10 この辞 書^{じ しょ} は 大 学 生 _____^{だいがくせい} だ。
A ため B むけ C ふう D がち

Ⅱ _____ とほぼ^{おな ないよう}同じ内容のもの、または、_____ と最^{もっと}も関係^{かんけい}のあるものをA～D
の^{なか}から一つ^{ひと}選^{えら}びなさい。

1 その^{しつもん}質問には^{こた}お答えしかねます。

A ^{こた}答えるつもりです

B ^{こた}答えられます

C ^{こた}答えることができません

D ^{こた}答えるべきではありません

2 東^{とうきょう}京^い行きの^{でんしゃ}電車は^{ぶん}10分^きおきに^き来^きます。

A ^{ぶん}10分^{ぶん}ぶり

B ^{ぶん}10分^{ぶん}ほど

C ^{ぶん}10分^{ぶん}ごと

D ^{ぶん}10分^{ぶん}ぎみ

3 田^た中^{なか}さんは、若^{わか}いころ^わス^まマ^ート^ただ^った。

A ^{しんせつ}親切^{しん}だ^った

B お^おと^とな^なし^しか^かっ^た

C や^やせ^せて^てい^いた

D ^{にんき}人^{にん}気^きが^があ^あっ^た

4 田^た中^{なか}さんがその^{めんどう}面倒^しな^{ごと}仕^し事^{ごと}を^して^てく^くれ^れる^るこ^こに^にな^なっ^た。

A ^ひ引^ひき^き受^うけ^けて^てく^くれ^れた

B ^あ当^あて^ては^はめ^めて^てく^くれ^れた

C ^と取^とり^り上^あげ^げて^てく^くれ^れた

D ^{もう}申^{もう}し^し込^こんで^てく^くれ^れた

5 試^し験^{けん}を^う受^うけ^ける^るか^から^らに^には^は、^{ぜったい}絶^ぜ対^{たい}に^{ごうかく}合^ご格^{かく}し^した^たい。

A ^う受^うけ^ける^るも^もの^のだ^だか^から

B ^う受^うけ^ける^るど^どこ^ころ^ろか

C ^う受^うけ^ける^るに^にし^して^ては

D ^う受^うけ^ける^る以^い上^{じょう}は

6 夏^{なつ}休^{やす}みは、^{りょこう}旅^{りょ}行^{こう}に^い行^いく^くか^かわ^わり^りに^に、^あア^あル^るバ^ばイ^いト^とを^をす^する^るこ^こに^にし^した。

A ^{りょこう}旅^{りょ}行^{こう}に^い行^いか^かず^ずに

B ^{りょこう}旅^{りょ}行^{こう}に^い行^いく^くつ^つい^いで^でに

C ^{りょこう}旅^{りょ}行^{こう}に^い行^いく^くば^ばか^かり^りに

D ^{りょこう}旅^{りょ}行^{こう}に^い行^いく^くた^たび^びに

7 環^{かん}境^{きやう}汚^お染^{せん}は^{じゅうだい}重^{じゅう}大^{だい}な^{もんだい}問^{もん}題^{だい}だ。

A ^{しんこく}深^{しん}刻^{こく}な

B ^{こんなん}困^{こん}難^{なん}な

C ^{めいわく}迷^{めい}惑^{わく}な

D ^{かじょう}過^か剰^{じょう}な

8 有^{ゆう}名^{めい}な^か歌^{かしゅ}手^てが^くし^しば^しば^ばこ^この^くレ^くス^すト^とラ^らン^んに^に来^くる^るそ^そう^うだ。

A わ^わざ^ざわ^わざ

B た^たま^また^たま

C た^たび^びた^たび

D ま^ます^すま^ます

9 風邪が流行しているので、気をつけてくださいね。

- A かかっている B うつつている C ひいている D はやっている

10 その試合は、勝ちと負けが決まらないで終わった。

- A とりけし B ひきわけ C しめきり D つきあい

Ⅲ _____に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1 やまだ 山田さん：「今からみんなで食事に行くんですけど、田中さんもいかがですか。」

たなか 田中さん：「ぜひ行きたいところなんですが、_____。」

やまだ 山田さん：「そうですか。じゃ、またの機会に。」

A お疲れさまです

B 後から行きます

C 仕事が片付いたら……

D 仕事がつまってるんです

2 がくせい 学生：「せんせい 先生、ちょっとレポートのことで相談したいことがあるのですが、今いでですか。」

せんせい 先生：「_____。」

がくせい 学生：「そうですか。いつ頃だったらよいでしょうか。」

せんせい 先生：「あしたは一日大丈夫です。」

がくせい 学生：「分かりました。それでは、あしたもう一度来ます。失礼します。」

A そういことなら、仕方ないですね

B ええと、今はちょっと……

C ちょうどよかった。ちょっとお願いがあります

D レポートは、あしたまでに提出すればいいですよ

3 会社の先輩：「かいしゃ せんぱいそういえば、れい例のあれ、どうなった？」

やま だ山田さん：「_____。」

会社の先輩：「かいしゃ せんぱいほら、しんせいひん新製品のアンケート ちょう さ調査の……。」

やま だ山田さん：「あ、そのことでしたか。いま今のところ じゅんちょう順調に すす進んでいます。」

A しんせいひん新製品のサンプルなら、アンケート ちょう さ調査の きょうりよくしゃ協力者に おく送りましたよ

B ちょうどその事 ことを つた伝えようと思 おもっていました

C ええと、どの件 けんですか

D アンケート ちょう さ調査の すす進み ぐ あい具合ですか

4 田中さん：「た なか聞いてください。きまたあの ひと人に もん く文句を い言われちゃったんですよ。」

やま だ山田さん：「え、またですか。た なか田中さん、ぜんぜんかんけい全然関係ないのに めいわく迷惑ですね。」

た なか田中さん：「まったく、_____。」

やま だ山田さん：「ほんとう本当ですね。どうかしてほしいですね。」

A あの ひと人に もん く文句を い言われるのはこれが はじ初めてでびっくりしちゃいました

B 私 わたしに かか関わることだから い言われても しかた仕方ないかもしれませんが

C もん く文句を い言われるのはいつものことですから な慣れています

D あの ひと人にはいつも こま困らせられますよ

5 やま だ山田さん：「ああいうことは い言うべきではなかったと おも思いますよ。」

た なか田中さん：「でも、あい て相手に り かい理解してもらうために、い言わなければならなかったん す。です。」

やま だ山田さん：「_____、あんな い言い方 かたをしたのでは、あい て相手を おこ怒らせてしまうだけで しょう。しょう。」

A つまり

B にもかかわらず

C したがって

D だからといって

Ⅳ _____のひらがなと同じ漢字で書くものを A～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 最近、アンさんの授業のけっ席が多くて心配だ。
 - A 先生の話が長すぎて、学生たちの集中力がかけてきた。
 - B このチームは強いので、私たちがかてるとは思えない。
 - C この本を読んで、日本に対する見方がかわった。
 - D うっかり水をやるのを忘れて、花がかれてしまった。

- 2 駅へ行く途中で、方こうがわからなくなってしまった。
 - A 大きな事故があったため、放送の予定が変こうされた。
 - B エ事のため、この道路は通こうできません。
 - C この一週間、雨が降ったりやんだりして、天こうが安定しない。
 - D 日本では、お酒を飲む人が減る傾こうにある。

- 3 現在では、インターネットのない生活はそう像しにくい。
 - A 空気が乾そうしているので、のどが少し痛い。
 - B 石油を輸そうする大きな船をタンカーという。
 - C その問題について、研究者の間で論そうが続いている。
 - D 私の理そうは、みんなが幸せを感じられる社会だ。

- 4 漢字の問題をとくのにけっこう時間がかかった。
 - A 新しいアパートに引っ越して、とてもかい適に生活している。
 - B 新しい技術を使って、地球の環境をかい善していきたい。
 - C 日本の政治について、先生にかい説してもらった。
 - D 私が一日に勉強できるのは、6時間が限かいだ。

- 5 割れたガラスの破へんに気をつけてください。
 - A 寝る前に、部屋をかたづけておこう。
 - B 祖父は歯が悪いので、かたいものが食べられない。
 - C 息子がかたをもんでくれたので、疲れがとれた。
 - D 先生が留学していたときの思い出をかたててくれた。

V つぎ ぶんしょう よ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切なものを一つ選びなさい。

むかしほどは日常的につかわれなくなったことばに、(1)「もったいない」ということばがあります。この感覚をわたしは子どものころに身につけ、それがいまわたしのなかにしっかりと生きています。

2004年にノーベル平和賞を受賞したケニアのかんきょう保護活動家、ワンガリ・マータイさんが来日したときに、「もったいない」という表現をとてきに入ったというニュースがありましたね。日本語の「もったいない」が表している心を、同じようにもつ外国語はあまりないのだということを知って、わたしはおどろきました。ひもじいということばに比べれば、「もったいない」はいままだ日常語としてつかわれていますね。

「まだつかえるのに、捨ててしまうなんてもったいない」
とか、「ありがたい」とか「おそれ多い」という気持ちをこめて、
「わたしにはもったいないことです」
というようなつかい方をします。

けれども、(2) このことばに寄せる感覚は、モノがあふれているいとこのむかしとでは、とてもちがってきているように思います。

「もったいない」ということばがそのむかしあちこちでよく聞かれたのは、モノがない時代だったからです。食べものも着るものもまるで足りない。わずかばかりの食べものや着るものを、いまよりも兄弟姉妹の数が多い大家族で分け合わなければなりません。だから自然に「もったいない」という感覚が家族のだれしにも育まれ、それを共有することができました。

(3) わたしが高校生のときに着ていた制服は、知り合いのせんぱいからゆずり受けたお古、いわゆる古着でした。すでに着古されていたその制服の表地は、布がすり切れそうなくらいすくなくて、表面がてかり、また色あせてもいました。

そこで母は、制服のうらを表に返して、まだ多少はいたみのすくないほうを表側にし、ざっと仕立て直してくれました。でも、そうやってひっくり返しただけの制服は、ほんとうなら左にあるべき胸ポケットが、右胸に移動していました。

「きみのポケットは、なぜ右がわにあるんだい？」
と友だちにふしぎがられて、とてもはずかしかったおぼえがあります。わたしは、わざと胸ポケットをかくように、通学かばんをたすきがけにしていたものです。

かといって、親に不満をいったところで、新しい制服を買うゆとりなどわが家にな

いことはよくわかっていましたし、母のせいっぱいの気持ちがいたいほど感じられましたから、(4) わたしはだまってそのお古の制服を着続けました。

モノがなかったおかげで、どこの家庭にも、分け合う心やモノを大切にあつかう心が自然に育まれたのです。

(日野原重明『十歳のきみへ—九十五歳のわたしから』より、一部表記を改めた)

問い1 下線部(1)「もったいない」について述べた文章として正しいものはどれですか。

- A このことばを日本語以外の言語に翻訳するのは難しいです。
- B このことばは、むかしよりもよくつかわれています。
- C このことばをよくつかっているのは子どもだけです。
- D このことばは、ひもじいと同じ意味を持っています。

問い2 下線部(2) このことばに寄せる感覚は、モノがあふれているいまとそのむかしとは、とてもちがってきているように思います とありますが、むかしはどうでしたか。

- A むかしはいまよりモノがなかったが、あちこちでことばの意味を質問することができた。
- B むかしはいまより家族が多かったので、正しいことばの意味を知るきっかけがあった。
- C むかしはいまよりモノが少なかったので、モノを大切にする気持ちがみんなにあった。
- D むかしはいまより自然が豊かだったので、モノが足りなくても生きることができた。

問い3 下線部(3) わたしが高校生のときに着ていた制服 とありますが、その説明としてまちがっているものはどれですか。

- A 母が作り直したから、ポケットは反対のほうについていた。
- B まちがえて反対に着た日は、ポケットが右についていた。
- C 友だちの制服とはちがうところにポケットがついていた。
- D せんぱいからもらったとき、ポケットは左についていた。

問い4 ^{か せん ぶ}下線部(4) わたしはだまってそのお古^{ふる}の制服^{せいふく}を着^き続けました とありますが、それはなぜですか。

- A はずかしい^{き も}気持ちがあつて、制服^{せいふく}の説明^{せつめい}をすることができないから。
- B だまっていなかったら、母^{はは}が新^{あた}しい制服^{せいふく}を用意^{ようい}してしまうと思^{おも}ったから。
- C 新^{あた}しい制服^{せいふく}がほしいと言^いっても、買^かえないとわかつていたから。
- D 制服^{せいふく}をくれたせんぱいのことを、気^きの毒^{どく}だと思^{おも}ったから。

問い5 ^{ほんぶん}本文と^{ないよう}内容が^あ合っているものはどれですか。

- A 「わたし」はモノがない時代^{じ だい}の方が新^{あた}しいことばがうまれやすいと感^{かん}じている。
- B 「わたし」は「もったいない」という感^{かん}覚^{かく}と生活^{せい}のあり方^{かつ}には関^{かん}係^{けい}があると思^{かんが}えている。
- C 「わたし」はワンガリ・マータイさんの感^{かん}覚^{かく}の豊^{ゆた}かさにおどろいた。
- D 「わたし」は「もったいない」ということばの意^い味^みの変^{へん}化^かに関^{かん}心^{しん}を持^もっている。

問題

C

Advanced Level

I _____に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 背が低いので、既製品のズボンをそのままはくと_____が床についてしまう。
A すそ B えり C そで D また
- 2 卒業式の最中、立派に成長した息子の_____横顔を見て涙が止まらなかった。
A まめな B きざな C むなしい D りりしい
- 3 近道しようとしたら渋滞に巻き込まれ、_____時間がかかった。
A あえて B いたって C てんで D かえって
- 4 荷物が_____持ちにくいんです。
A ぼやけて B はかどって C おびえて D かさばって
- 5 さすが、_____イタリアのパスタはおいしいなあ。
A 本場 B 現物 C 発祥 D 実地
- 6 各学校には、1人_____2人の心理相談員が配置されている。
A かつ B それとも C また D ないし
- 7 このようなチャンスは今を_____ほかにはないと思い、海外留学を決意した。
A まして B てらして C ひきかえて D おいて
- 8 スマホで支払いをするなんて、半世紀前には想像_____だろう。
A にたえなかった B を禁じ得なかった
C だにしなかった D は否めなかった
- 9 先日は、私共の新居まで_____くださり、ありがとうございました。
A 揚げ足を取って B 足を引っ張って
C 足を運んで D 二の足を踏んで

10 一般市民に_____をお願いして、図書館の使いやすさについて検討してみよう。

- A モデル B モニター C サンプル D メディア

Ⅱ _____とほぼ同じ内容のもの、または、_____と最も関係のあるものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1 彼の主張は一貫している。

- A 断然はかない B 終始ぶれない
C 到底おぼつかない D 一向にさえない

2 親切そうに見せかけて近づいてくる人ほど注意が必要だ。

- A 親切まみれで B 親切めいて
C 親切ぶって D 親切っぽくて

3 客室乗務員が再三注意したが、その乗客は指示に従わなかった。

- A 幾度となく B つかの間 C 時折 D とっさに

4 あなたが勧めてくれたこの掃除機、重宝しているよ。

- A ロコミが広まっている B 便利で役に立っている
C 色や形が気に入っている D 前より高くなっている

5 彼女は日本語と英語が達者だ。

- A 匹敵 B 便宜 C 横柄 D 堪能

6 この作品は画期的な方法で制作された。

- A 大変時間がかかる B 今となっては珍しい
C 一般的に知られている D これまでになく新しい

7 田中さんのような懐が深い大先輩と出会えたことは、本当に幸運だと思う。

- A 心が広く包容力がある B 資産家で経済的に余裕がある
C 知識が豊富で話が上手な D 人脈が広く世話焼きな

8 今度キッチンに入った新人、筋がいいね。

- A 礼儀正しい B 図々しい C 素質がある D 体力がある

9 事業をいかにバトンタッチするか、これは経営者にとって大きな課題である。

- A 新たに開拓する B 顧客へ伝達する
C 価値を高める D 後進へ継承する

10 なんだかんだあったものの、今回のイベントも無事に最終日を迎えた。

- A あれこれ B とやかく C つべこべ D ぶつくさ

Ⅲ _____に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1 田中さん：「前回から引き続き、新商品の色について話し合いたいと思います。

前は、白と赤で意見が分かれていましたが、その後みなさん考えていただきましたでしょうか。」

山田さん：「私はやはり白がいいと思います。どんな部屋にも合いますし、邪魔しない色だと思います。」

森本さん：「いや、どうですかね。邪魔しないというのは目立たないということですので、せっかくの商品なのに使っていただけるのかと……。やはり赤の方が存在感が出ますし、かわいいですね。」

安井さん：「それとも、いっそのこと_____。」

田中さん：「そうですね。ただ、それだと製作コストがかかってしまいますので……。」

安井さん：「人の好みも様々ですし、相乗効果で売れるんじゃないかと思うんですけどね。」

- A 両方作るということではできないんでしょうか
B 白にした方が売れるんじゃないかと思うんですが
C 消費者にアンケートを取るということも検討してみますか
D 赤にするということに進めていってはいかがでしょうか

- 2 山田さん：「日本語が大変お上手ですね。どれくらい勉強されたんですか。」
タンさん：「いえいえ、今日はたまたま得意な話題だっただけです。」
山田さん：「_____、ご謙遜を。」

A くれぐれも B それなりに C またまた D あいにく

- 3 取引先の人：「今度のイベントなのですが、そちらの会社から司会を一人と当日の参加記念品を用意していただくことはできませんか。」
田中さん：「司会と参加記念品ですか。_____。」
取引先の人：「もちろんです。よろしくお願いいたします。」
田中さん：「はい。できるだけ早く結果をお伝えしますね。」

A 両方というのは大変ですので、司会だけというのは可能ですか
B ここでは決められませんので、社内で検討してお返事をさせていただきたいです
C 去年もうちからだったので、今年はそちらからお願いできませんか
D どちらも例年うちが担当しているので、問題ありませんよ

- 4 山田さん：「昨日の会議に遅れたの、電車が止まっちゃったんだって？」
田中さん：「いや、まいったまいった。落雷による信号の機械トラブルだったらしいんだけど、30分も動かなくて。」
山田さん：「うわ、それは大変だったね。_____。」
田中さん：「本当だよ。気をつけようがないもんね。」

A 結局会議には出られなかったみたいだし、踏んだり蹴ったりだったね
B まあでも動物が原因じゃ対策できないし、仕方がないよね
C あの会議だからよかったものの、すごく重要な会議だったらと思うと恐ろしいね
D さっきの会議のメインの箇所にはなんとか間に合ってよかったね

- 5 客：「もしもし。明日の予約をお願いしたいのですが。」
店員：「もしもし、もしもし？」
客：「もしもし？ 聞こえますか？」
店員：「すみません。_____。」
客：「いま、聞こえますか？ もしもーし。」
店員：「はい。失礼しました。聞こえます。」
客：「ああ、よかった。じゃあ、明日の予約をお願いします。」

- A 充電ができていませんね
B ちょっと電話が遠いようです
C 明日は予約でいっぱいです
D お名前とお電話番号をお願いできますか

Ⅳ _____のひらがなと同じ漢字で書くものを A～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 田中さんは、父親の後をついで旅館を営んでいる。
A 大学が企業と提けいして、新しい事業を始める例が増えてきた。
B 京都のお祭りの様子がテレビで中けいされていた。
C 新聞に広告をけい載して、多くの人に製品を知ってもらおう。
D 最近、詐欺の被害が増えており、警察がけい戒を呼びかけている。
- 2 この商品は傷みやすいので、高温をさけて保存してください。
A アンさんがパーティーで素晴らしい歌声をひ露してくれた。
B そのホラー映画の上映会では、何度も観客のひ鳴があがった。
C 事件の当事者に話を聞こうとしたが、取材を拒ひされてしまった。
D 災害のときにどこにひ難したらいいかを知っておいた方がいい。
- 3 大学の研究成果を社会にかん元することが求められている。
A 私がもらっている奨学金は、将来、返かんする必要はないそうだ。
B この書類は大切なものなので、厳重に保かんしておいてください。
C 計画の進行は若かん遅れているが、ほぼ順調と言っていい。
D 父は子どものいたずらにかん容で、いつも笑って許してくれた。

- 4 その作家は、他に類を見ない独そう的な作品を発表し続けている。
- A この授業では、出席、授業中の発言、試験の成績をそう合的に評価します。
- B その映画監督はすでに新作の構そうを練っているという。
- C 新しい文化をそう造するのは、いつも若者たちだ。
- D 調査対象者を年齢によって4つの階そうに分けて分析を行った。
- 5 乗った飛行機があまりにもゆれるので、生きた心地がしなかった。
- A 学生からのよう望に応じて、授業で学生同士の議論を行うことにした。
- B 私は落ち着いているふりをしていたが、実はかなり動ようしていた。
- C 議員の特権の濫ようは、厳しく批判されなければならない。
- D 友だちとの待ち合わせで5分程度の遅刻は許ようの範囲内だろう。

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適当なものを一つ選びなさい。

日本では、毎年、当たり前のように田植えをしてイネを育てる。

これも世界の農業から見れば、極めて珍しいことである。

農作物を栽培するときには、毎年、同じ作物を連続して作ると、うまく育たなかったり、枯れてしまったりすることがある。この現象は「連作障害」と呼ばれている。そのため、作物を育てる場所を替えていかなければならないのである。

ところが、田んぼは毎年、同じ場所でイネばかりを作っている。(1) それなのに、どうして連作障害が起こらないのだろうか。

連作障害の原因には、作物の種類によって土の中の栄養分を偏^{かたよ}って吸収するために、土の中の栄養分のバランスが崩れてしまうことや、作物の根から出る物質によって自家中毒を起こしてしまうことがある。あるいは、同じ作物を栽培することで、土壌中にその作物を害する病^{びょうげんきん}原菌が増えてしまうということがある。

ところが、田んぼは水を流している。このことによって、余った栄養分は洗い流され、新しい栄養分が供給される。また、生育を抑制する有害物質も洗い流してくれる。さらには、水を入れたり乾かしたりする田んぼでは、同じ病原菌が増加することも少ない。

そのため、田んぼでは連作障害が起こらないのである。

イネは何千年もの昔から、ずっと同じ場所で作られ続けてきた。これは、世界の農業から見れば、まさに奇跡である。

一方、イネと同じイネ科の作物であっても、(2) ヨーロッパの畑で作られるムギでは、連作障害が問題となる。

そのため、かつてヨーロッパではムギを刈った後に家畜を放牧してローテーションをしながら休閑する三圃式農業さんぼしきのうぎようが行われていた。こうして三年に一度は休ませないと、地力を維持することができなかつたのである。このように、コムギは三年に一度しか作ることができなかつたのだ。

現在でも、ムギ栽培と家畜飼育を組み合わせた混合農業が行われている。こうして連作障害を防ぎながら、地力を回復させなければならないのである。環境を保全しながら持続的にムギを栽培しようとするれば、ムギが収穫できるのは数年に一度ということになる。

これに対して、日本の田んぼは毎年、イネを育てることができる。イネのように毎年、栽培することができるというのは、じつは特別にすごいことなのだ。

それどころか、かつて日本の田んぼでは、イネを作った後に冬作としてムギを栽培する二毛作にもうさくが行われていた。連作できるところか、一年のうちにイネとムギを収穫することさえ可能だったのだから、ヨーロッパのムギ畑からすれば、考えられないほど高い生産力を誇っていたのである。

最近ではヨーロッパの鉄道旅を紹介するようなテレビ番組は多い。

ヨーロッパを旅すると、車窓に広がる牧歌的な風景の美しさにはため息が出る。

そんな風景に見慣れているから、日本に帰国すると、本当にガッカリさせられる。飛行機から見る風景も、車窓から見える風景も、とにかく日本はごちゃごちゃわいざつしていて猥雑わいざつなのだ。

しかし……と私は思う。

これこそが、(3) 日本の田んぼのすごさを物語っているように思えるのである。

ヨーロッパの農村風景を見ると、広々とした畑が広がり、その遠くに家々が見える。

しかし、この風景の成立した背景を考えると、昔は、この小さな村の人たちが食べていくために、これだけ広大な農地が必要だったということでもある。

一方、日本では田畑の面積が小さく、そこら中に農村集落がある。つまり、少ない農地でたくさんの人たちが食べていくための食糧を得ることが可能であったということに他ならない。

ヨーロッパは土地がやせていて、土地の生産力が小さい。

しかも、ヨーロッパの中でもムギを作ることができたのは恵まれた土地である。

やせた土地では、ムギを作ることはできなかつた。そのため、牧草を育てて、家畜を育てたのである。

さらには、土地の生産力の違いに加えて、(4) ムギとイネという植物の違いもある。

イネはムギに比べて、収穫量の多い作物なのである。

また、収量の多いイネは生産効率も良かった。

ヨーロッパでは主にコムギやオオムギなどのムギ類が栽培されるが、15世紀のヨーロッパでは、播いた種子の量に対して、3～5倍程度の収量しか得ることができなかった。一方、日本ではイネが栽培されるが、同じ15世紀の室町時代の日本では、イネは播いた種子の量に対して20～30倍もの収量が得られたのである。

化学肥料が発達した現在で比較しても、コムギは播いた種子の20倍前後の収量であるのに対して、イネは110～140倍もの収量がある。イネは生産力がずば抜けて高いのである。

イネとムギ類とは栽培されている環境や土地も異なるし、栽培技術も異なるから、単純な比較はできないが、イネが多くの食糧を生み出してきたことは間違いがない。

実際に、現在でも、世界の人口密度が高い地域は、稲作地帯と一致する。イネを作ることは多くの人口を養うことを可能にするのである。

田んぼで展開される稲作は、世界がうらやむような農業だったのである。

(稲垣栄洋『イネという不思議な植物』より、一部表記を改めた)

問い1 下線部(1) それなのに、どうして連作障害が起こらないのだろうか とありますが、その理由として正しいものはどれですか。

- A イネの連作障害は原因が広く知られているので、対策を取ることができるから。
- B 水の働きなどで、日本の田んぼは連作障害の原因を取り除くことができるから。
- C イネは他の作物と違って、連作障害の原因になる有害物質を出さずに済むから。
- D 日本の土地は生産力が高いので、イネの連作障害を防ぐことが可能だったから。

問い2 下線部(2) ヨーロッパの畑 について述べた文章として正しいものはどれですか。

- A ヨーロッパの畑では、ムギを作るために、いくつかの取り組みが行われてきた。
- B ヨーロッパの畑では、イネを作ることが難しかったので、連作障害に苦しんだ。
- C ヨーロッパの畑では、同じ場所において三年に一度しか農業が行われなかった。
- D ヨーロッパの畑では、混合農業を行う中で、同じ場所での連作が可能になった。

問い3 下線部(3) 日本の田んぼのすごさ について述べた文章として正しいものはどれですか。

- A 日本の田んぼのすごさは、テレビ番組の影響で、かなり知られるようになっていく。
- B 日本の田んぼのすごさは、小さな土地で、十分な量のイネを収穫できたことにある。
- C 日本の田んぼのすごさは、ヨーロッパの畑に行かなければ、理解することが難しい。
- D 日本の田んぼのすごさは、日本の気候や風土に合わせて、発展してきたことにある。

問い4 下線部(4) ムギとイネ について述べた文章として正しいものはどれですか。

- A 人口密度が高い世界の地域の多くは、人口を養うために、ムギではなく、イネを育てることを選択した。
- B これから環境や栽培技術が改善していけば、ムギの収量がイネの収量を上回っていく可能性は十分ある。
- C 現在ムギの収量は化学肥料の発達により増加しているものの、イネの収量を大きく下回ったままである。
- D 今から約600年前の段階では、ヨーロッパのムギと日本のイネの収量は、ほとんど同じぐらいであった。

問い5 この文章で書かれている内容として正しいものはどれですか。

- A この文章の筆者は、日本の風景を見るために、飛行機や鉄道に乗ることもある。
- B 日本では、連作障害を防ぐために、ムギよりもイネを栽培する傾向にあった。
- C 日本の田んぼでは、一年のうちにイネとムギの両方が栽培されることもあった。
- D 世界の農業は、田んぼで行われている日本の農業から、もっと学ぶべきである。